

令和7年1月28日（火） 実施

2025年度大学院法学研究科 特別選考による外国人修士課程入学試験問題

受験番号	
------	--

社会科学の基礎学力を試す論文試験（日本語で解答すること）

（1） 問題冊子、下書用紙、すべての解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること（氏名は絶対に記入しないこと）。

問題Ⅰ

次の文章（安藤馨「世代間正義における価値と当為」杉田敦編『岩波講座（岩波書店、2016年）より抜粋）を読んで、次の問に答えなさい。

現代4「グローバル化のなかの政治」

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

問1 本文中の次の言葉の読みを書き、意味を説明しなさい。

- ①適切 ②勘案 ③手厚い ④性的指向

問2 傍線部Aについて、「欺瞞は……それとまったく同型である」とあるが、それはどのような「欺瞞」であり、どのような理由で「それとまったく同型である」のか、説明しなさい（200字以内）。

問3 傍線部Bについて、世代間格差を伴う少子高齢化社会において「世代階級間の革命的闘争の可能性」が道徳的に承認される理由を、著者の考えに即して、冒頭から末尾までの本文全体を踏まえて説明しなさい（300字以内）。

問題Ⅱ

次の文章（松島斉『サステナビリティの経済哲学』（岩波書店、2024年）より抜粋）を読んで、次の問に答えなさい。

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

問1

本文中の次の言葉の読みを書き、その意味を説明しなさい。

- ① 阻害 ② 克服 ③ 禁物 ④ 包摂 ⑤ 隷属

問2

ヴェブレンの思想の内容を述べた上で、それに対する著者（松島斉）の評価について説明しなさい（200字以内）。

問3

ヴェブレンは新しい構想への道筋を提供してくれるがマルクスはそうではないと著者（松島斉）が考えているのはなぜかを説明しなさい（200字以内）。

